

今週（6月16日から6月20日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、前週に引き続き邦銀業態を中心に堅調な資金調達ニーズが見られるなか、一部の業態からは政策金利を上回る水準で少額の調達もみられた。しかし、加重平均レートへの影響は限定的で、16日(月)～19日(木)までは、0.477～0.478%の横ばい圏で推移し、週末となった20日(金)も概ね同水準での取引が中心となった。

ターム物に関しては、1W～3M物の幅広い期間で出会いが散見された。

日銀当座預金残高は、16日(月)に国債買入オペにより529兆円台半ばまで増加して始まった。その後は、18日(水)の貸出増加支援オペの期落ちにより527兆円台前半まで減少したが、19日(木)以降は財政資金の払いや国債大量償還・利払いによる増加を受けて、20日(金)には530兆円程度での着地見込みとなった。

また、16日(月)～17日(火)に開催された日銀 金融政策決定会合では、無担保コールレートの現状維持と、新たな長期国債買入の減額計画が公表された。

●レボ市場

今週のGCT/Nは、0.475～0.505%での出会いとなった。週を通してオファーサイドのニーズがしっかりとみられる展開となった事から、付利金利(0.5%)近辺での取引が中心となった。

SCについては、カレント銘柄近辺や、チーベスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーンが堅調に推移した。

19日(木)に実施された1Y物入札は無難な結果となり、その後のセカンダリーマーケットでは、堅調に推移した。

20日(金)に実施された3M物入札は事前予想に比べ強い結果となり、その後のセカンダリーマーケットでも、強含みで推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、不動産、卸売、鉄鋼などの業態からまとまった発行があり、全体としては発行超のマーケットとなった。

市場残高は、9日(月)以降23兆円台後半での推移が続いていたが、18日(水)に24兆円台を回復する展開となった。

発行レートは、引き続き0.5%以上で推移しており、銘柄や投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レボレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
6/16 (月)	38,311.33	1.450	144.20	0.477	0.485	5,295,300
6/17 (火)	38,536.74	1.475	145.00	0.477	0.483	5,294,500
6/18 (水)	38,885.15	1.455	145.31	0.478	0.480	5,273,900
6/19 (木)	38,488.34	1.410	145.26	0.477	0.487	5,283,500
6/20 (金)	38,403.23	1.395	145.26	0.477	0.493	5,299,400

来週（6月23日から6月27日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
6/23 (月)	4月のサービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)				5月の米中古住宅販売件数
6/24 (火)			20Y 6/25発行 10,000億円		4月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 6月の米CB消費者信頼感指数
6/25 (水)	田村審議委員 福島県金融経済懇談会における挨拶 決定会合における主な意見(6月16・17日分 8:50) 5月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50) 4月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)				5月の米新築一戸建て販売件数
6/26 (木)			2Y 7/1発行 26,000億円		1-3月期の米GDP確報値 5月の米耐久財新規受注
6/27 (金)	6月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 5月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 5月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 1-3月期の資金循環統計速報(日銀 8:50) 5月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50)	TDB 3M 6/30発行 44,000億円			5月の米個人所得・消費支出(PCE)

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
6/23 (月) 日銀予想	▲ 200	▲ 2,300	▲ 2,500	国債買入 国債補完	7,100 1,500		8,600	6,100	機関貸元利回収 TB3M発行▲44,000償還45,000
6/24 (火) 弊社予想	▲ 1,500	▲ 1,000	▲ 2,500				0	▲ 2,500	
6/25 (水) 弊社予想	▲ 1,000	▲ 7,000	▲ 8,000	共通担保	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 16,000	20Y発行▲10,000
6/26 (木) 弊社予想	▲ 1,000	▲ 2,000	▲ 3,000				0	▲ 3,000	
6/27 (金) 弊社予想	▲ 1,000	3,000	2,000				0	2,000	
週 間 合 計	▲ 4,700	▲ 9,300	▲ 14,000	—	600	0	600	▲ 13,400	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれる事から、0.477%近辺での出会いが中心になると予想される。債券レポGC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.40～0.50%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、27日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、月末を控え、四半期末越えの発行がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では、25日(水)に田村審議委員 福島県金融経済懇談会における挨拶、決定会合における主な意見(6月16・17日分)、27日(金)に6月の都区部消費者物価指数、5月の完全失業率、有効求人倍率、海外では25日(水)に5月の米新築一戸建て販売件数、26日(木)に1-3月期の米GDP確報値、27日(金)に5月の米個人所得・消費支出(PCE)などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入